

○ 日本人学校における総合的な学習の時間の取組み状況

(平成18年4月15日現在)

内 容	学校数	割合	例	示
現地理解・国際理解	64	75.3%	○所在国の民話を通して民族、文化に触れ現地理解を深める。[小3] ○現地理解。「現地語」をすすめ、深める時間として、「身近な人々や文化や自然を大切にする子の育成」を全体のテーマとして、各学年、それぞれの教科において取り組む。[小3～中3] ○日本文化を紹介すると共に現地の生活や歴史・文化を計画的に調べ、情報技術を用いて発表会を行う。[小3～中3] ○ガイドブックを作ろう[小3～中3] 等	
英会話等	41	48.2%	○英語を母国語とする講師による英会話教室[全学年] 等	
うち、小学部第1学年・第2学年	26	30.6%	○派遣教員と現地採用講師による英会話学習(3～5人ずつで習熟度別コースを構成)[全学年]	
うち、小学部第3学年～第6学年	41	48.2%	○英会話に慣れ親しむ・英語を使って、人と交流しようとするコミュニケーション能力を養う。[小1～小6] 等	
うち、中学部	31	36.5%	○英会話－発音練習、歌、カードゲーム会話練習[小3～中1] ○現地講師3人を招いて日常英会話の学習[小3～中3] 等 ○ドラマ作成(英語発表)[中1～中3] 等	
現地語(英語以外の外国語)	30	35.3%	○現地語及び現地理解※所在国の教育省から授業としての位置づけを要請されている。[全学年] 等	
うち、小学部第1学年・第2学年	17	20.0%	○発達段階を考慮し、コミュニケーション手段としての現地語能力を養う[全学年] 等	
うち、小学部第3学年～第6学年	30	35.3%	○現地理解に必要な現地語の習得[全学年] ○現地語の数字の読み方、書き方。簡単なあいさつ、日常会話。[小3～中3] 等	
うち、中学部	19	22.4%	○現地語会話[小3～中3] 等	
交流学习	37	43.5%	○現地校、インター校との交流[小1～小6] ○現地高齢者との交流[小5] 等	
体験学習	14	16.5%	○「友達の輪を広げよう」宿泊学習を通して友達の良さを知ろう[小4] ○体験！絞り染め・ろうけつ染め[小3～中3] 等	
環境	15	17.6%	○WWF等との自然環境保護協力(マングローブ植樹海浜清掃作業等)[全学年] ○現地の環境と日本の環境について[中1～中3] 等	
自己実現(職業指導・進路指導)	13	15.3%	○「キャリア教育」職業体験学習や講演会を実施し、将来を見据えた体験を積む。[小3～中3] ○進路について[小3～中3] 等	
調べ学習	11	12.9%	○おもに所在国の発展に尽くした日本人を調べる[小4] ○児童生徒の興味関心に応じた課題、海外にある日本人学校という特色を生かした課題を自ら発見し、調べ、学び、発表する。特にコミュニケーション能力の育成を図る。[小3～中3] 等	
情報	9	10.6%	○情報活用能力の育成(ホームページの作成)[小3～中3] 等	
修学旅行に関する調べ学習	8	9.4%	○修学旅行先(所在国)について調べる[小5] 等	
健康(食べ物)	7	8.2%	○所在国と日本との食文化比較など(海外という特性を生かし、学年発達に即した学習材を扱う。)[小5～中3] 等	
伝統文化	7	8.2%	○日本らしさを伝えよう[小4] ○現地理解、国際交流と日本の伝統文化を学ぶ(太鼓演奏)[中1～中3] 等	
ボランティア	2	2.4%	○地域理解を深めると共に、宿泊体験学習や老人ホームへのボランティア活動を主体的に計画させる。[小4～小6] 等	
その他	7	8.2%	○合同体育(球技の学習)[小3～中3] 等	
小学部第1学年及び第2学年で総合的な学習の時間を実施している日本人学校	26	30.6%	○個々の能力に応じた日常会話・英語の読み書きの習得[小1～小6] ○現地理解に必要な現地語の習得[全学年] 等	

- ※ ①学校数は延べ数である。
②各内容を通年で取り組んでいない場合もある。